

第2次石垣市観光基本計画

素案

令和4年2月2日（水）
石垣市役所 1Fコミュニティルーム

素案の構成

- ▶ 序章
- ▶ 2章：石垣観光の現状とこれまでの取組
- ▶ 3章：**観光政策**
- ▶ 4章：**本計画の最終目的と施策指標**
- ▶ 5章：**推進体制**

「序章」のポイント

▶ 計画策定の意義

- 社会の変化、旅行者のニーズ変化に対応すること
- 観光業界、行政、市民など全ての関係者が連携すること
- アフターコロナの新たな様式に対応すること
- 持続可能性を追求すること

▶ 役割

- 10年後の将来像を決定し、地域全体で共有すること
- 具体的にやること（施策）がまとめられていること
- 全ての人々が指針として活用できること

▶ 計画期間と見直し

- 令和4年度から13年度までの10年間の計画
- 見直しは2年に1回

「2章 石垣観光の現状とこれまでの取組」のポイント

- ▶ **石垣観光を取り巻く状況や社会情勢**（新たな観光スタイル、訪日外国人観光客需要、地球温暖化、SDGs、人口減少、技術革新、ユニバーサルツーリズム、オーバーツーリズム、感染症）
- ▶ **事業者の声**（宿泊業、旅行業、観光施設、運輸業、小売業）
- ▶ **主要インフラ整備状況**（空港、港湾、道路）
- ▶ 第1次石垣市観光基本計画（平成22年度～平成31／令和元年度）の**取組状況と成果**（入域観光客数・平均宿泊数・観光消費額・1人あたり観光消費額・リピーター数・クルーズ船乗客数など）

<近年の社会情勢キーワード>

- ▶ 国民の**旅行需要**はそのまま
- ▶ 国民の**旅行ニーズ・旅行スタイル**の変化
- ▶ **訪日外国人観光客**は増加傾向
- ▶ 日本が、世界が、**脱炭素社会**へ向かっている
- ▶ 国内の人口減少により**労働力不足**がより顕著に
- ▶ デジタル社会が進展し観光分野にも影響
- ▶ **ユニバーサルツーリズム**の実現
- ▶ **観光公害**と**レスポンスブルツーリズム**
- ▶ **感染症**への対策

5

<事業者の声から見えてきたことから>

コロナ以前

- ▶ 客単価や付加価値の向上への取組
- ▶ 連泊の誘導
- ▶ SDGsにつながる取組（脱プラ、光害防止、リネン管理など）
- ▶ 団体客やクルーズ客の利用が重なった時の容量オーバー
- ▶ 観光客急増に伴う質の低下（観光コンテンツやサービス）
- ▶ 観光客の適正管理ができず観光公害が発生し双方にとってマイナスとなる
- ▶ 半グレなど反社会的勢力関係者がマリンレジャーや飲食業に参入
- ▶ 違法に交通運輸事業を行う事業者の横行
- ▶ タクシー業界における人材不足
- ▶ 原産地不当表示や類似商品などのトラブル

6

<事業者の声から見えてきたことから>

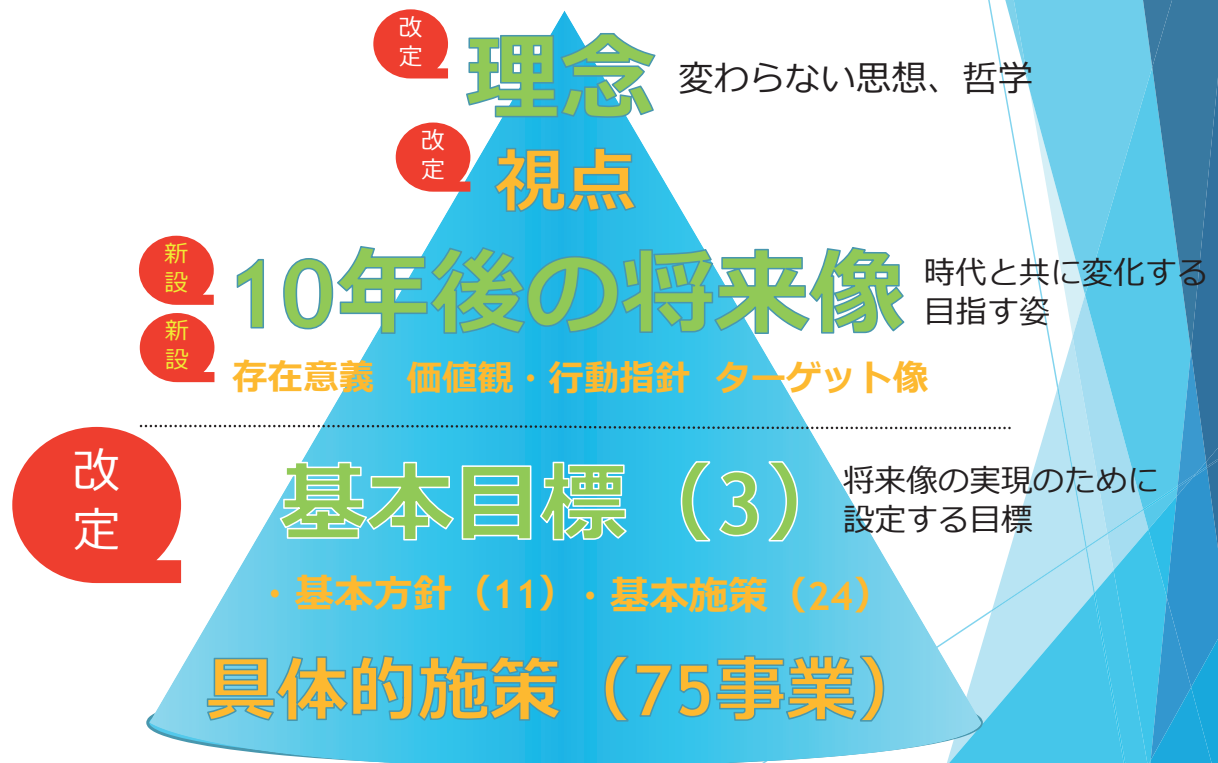
コロナ以後

- ▶ 稼働率の大幅な減少に直面
- ▶ 突然の予約キャンセルや特需の発生など需給管理がより困難になる
- ▶ 常時雇用を継続することがより困難になる
- ▶ 国立公園の活用や屋外型観光商品へのニーズの高まりなど新たな潮流があらわれる
- ▶ コロナ禍で事業拡大の腰を折られる事業者が増えた
- ▶ 安全・安心が重要視されるようになる
- ▶ コロナ禍により消費動向や消費志向が変化している

<第1次計画の目標フレーム>

- ▶ 観光消費額 **977億円** (目標は1,050億円)
- ▶ 観光客数 **147.2万人** (目標は150万人)
- ▶ クルーズ船入域観光客数 **25.1万人** (目標は24万人以上)
- ▶ 空港での国際線乗降客数 **9.9万人** (目標は8万人)
- ▶ リピーター率 **6.03割** (H31/R1のみ) (目標は毎年6割以上)
- ▶ 平均滞在日数 **2.4泊**

「3章 観光政策」のポイント



9

<理念について>

『**石垣市民は、石垣島が「世界が認める優れた自然文化的価値を有する場所」として未来永劫にわたり地球上に存在し続けることに責任を持って関わり、**

➡ 石垣島の優れた自然や文化は市民だけでなく世界の財産であることを示して、その保全を基本原則とすることに言及しています

(石垣市民は) 同じ想いや共感を示してくださる外からの来訪者と**交流の輪を広げます。**

➡ 「外からの来訪者」はレジャーかビジネスかを問わず観光客を指しており、本市の自然、文化、暮らしの価値を認め大事にくださる方を指します

(石垣市民は) またそのネットワークをつうじて**地球**的課題解決へのコミットメント (積極的参加) を**表明**します』

➡ 「地球的課題」とは地球温暖化への対応、世界恒久平和、あらゆる人権が擁護されること等を指し、石垣市の「観光まちづくり」を通じた、このような地球的課題の解決に取り組む意思や姿勢を表現しています

10

<視点について>

- ①アジアの交流結節点としての地理的優位性を活かします
- ②地域発展の源泉としての豊かな自然に敬意を払い共生します
- ③先人から受け継いできた独自の文化を守り資源として育みます
- ④健全な経済活動を促し地域発展の原動力として市民の暮らしを支えます
- ⑤人種や国籍、宗教や信条にかかわらずあらゆる人同士の交流の場となり平和と自由を体現する場となります
- ⑥持続可能な世界の実現のための地球的課題にチャレンジし、地球市民としての責任を果たします

11

<将来像について>

10年後にこう
なって欲しいと
思う石垣市の姿

**持続可能でより良い社会を求めて
世界中の人々がつながるまち**
～石垣島の未来は地球の未来～

- ・市民と来訪者同士が尊重し理解することによりシンパシーが生まれお互いが**幸福を感じられる観光地**
- ・豊かな自然と独自の文化が継承され醸し出される場所として**心の安らぎと癒しをもたらす観光地**
- ・多様性（ダイバーシティ）と包摂的（インクルーシブ）な精神の下で**精神的に豊かで質の高い観光地**

12

<観光客ターゲット像について>

石垣市は、第2次石垣市観光基本計画において、観光立市としての観光客ターゲット像をはじめて定めます。

地球の未来を

(地球の環境や世界平和など将来のことをグローバルな視点で捉えている)

わたしたちと共に考え行動する

(島に暮らす私たちの友達や仲間のような感覚で来訪していただける)

全ての人々

(すべての旅人が、私たちのお客さまです)

13

<基本目標について>

第2次観光基本計画では、将来像の実現のために**基本目標**を置き、それぞれの目標ごとの「**基本方針**」と「**基本施策**」定めています。

環境分野

**自然と共生し健康で快適な生活のための良
好な環境を創る観光まちづくり**

経済分野

**市民生活が豊かになり市の発展に貢献する
観光まちづくり**

社会分野

**誇りと責任ある行動の輪で創る観光まちづ
くり**

14

<基本方針について>

| 基本目標 | 基本方針 |
|-----------------------------------|--|
| 自然と共生し健康で快適な生活のための良好な環境を創る観光まちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ① 温暖化対策、脱炭素へ向けた取り組み ② 都市機能向上のための開発と自然資源、生活環境との共存 |
| 市民生活が豊かになり市の発展に貢献する観光まちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ③ 消費単価及び域内調達率の向上 ④ 時代の変化に即応したビジネスモデルへの転換 ⑤ 新型コロナ禍からの経済回復 ⑥ 国内旅行市場縮小への対応 ⑦ 観光業界の人材不足解消や労働環境の改善 ⑧ マスツーリズムから質を重視した施策への転換 |
| 誇りと責任ある行動の輪で創る希望に満ちた観光まちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ⑨ 観光客と地域の良質な接点づくり ⑩ SDGsやDX等新たな潮流への対応 ⑪ 市民協働による観光まちづくりの推進 |

15

<基本施策について>

| 基本方針 | 基本施策 |
|-------------------------------|---|
| 1. 温暖化対策、脱炭素へ向けた取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ① 円滑なモビリティの導入 ② 多角的な脱炭素等の取り組みの促進 |
| 2. 都市機能向上のための開発と自然資源、生活環境との共存 | <ul style="list-style-type: none"> ③ 地域発展の源泉の保全 ④ 魅力ある景観形成の実施と体制づくり ⑤ 観光施設の適正な管理 |

基本目標1…自然と共生し健康で快適な生活のための良好な環境を創る観光まちづくり

16

<基本施策について>

| 基本目標 | 基本方針 |
|--------------------------|--|
| 3. 消費単価及び域内調達率の向上 | ⑥ 新たな魅力の掘り起こし ⑦ 地域特性を活かしたイベントやフェアの企画、実施 ⑧ 顧客満足度の向上 ⑨ 観光による地域貢献の測定 ⑩ 地域と観光の循環的発展の推進 ⑪ 長期滞在型観光の振興 |
| 4. 時代の変化に即応したビジネスモデルへの転換 | ⑫ 観光産業強靱化の推進 |
| 5. 新型コロナ禍からの経済回復 | ⑬ ブランド戦略の実践 |
| 6. 国内旅行市場の縮小への対応 | ⑭ 誘客多角化の実践 |
| 7. 観光業界の人材不足解消や労働環境の改善 | ⑮ 専門的知見を有する人材確保 ⑯ 観光地力の底上げ |
| 8. マスツーリズムから質を重視した施策への転換 | ⑰ 観光地経営システムの導入、実践 |

基本目標2…市民生活が豊かになり市の発展に貢献する観光まちづくり

17

<基本施策について>

| 基本目標 | 基本方針 |
|-----------------------|--|
| 9. 観光客と地域の良質な接点づくり | ⑱ 顧客とのつながりの選択的強化 |
| 10. SDGsやDX等新たな潮流への対応 | ⑲ SDGsへの多角的な対応の促進 ⑳ 観光客と市民の双方に資するDXの検討 |
| 11. 市民協働による観光まちづくりの促進 | 21. シビックプライドの涵養 22. 観光まちづくりへの理解、参画の促進 23. レスポンシブルツーリズムの推進 24. 協働による観光まちづくりのための体制づくり |

基本目標3…誇りと責任ある行動の輪で創る希望に満ちた観光まちづくり

18

「5章 推進体制」のポイント

役割

- ▶ 計画に記載した具体的施策を実行して前に進めるためには**推進する組織**が必要です
現行計画（第1次観光基本計画）では石垣市がこの役を担うと記載されています
- ▶ 具体的施策が順調に進められているか、目的達成のために設定した目標（業績指標 = KPI）への**到達度を確認**し、必要に応じて**軌道修正や変更**を加えたりします
PDCAサイクルを管理することを指します
- ▶ 異なる事業主体間の**事務調整や合意形成**、観光事業者や市民団体等との連携など、企業や行政の枠を超えた**総合調整機能**を担います
総合調整機能を果たすためには行政や企業、関係団体の単体では実行が困難です
- ▶ 石垣市を一つの会社組織に見立てた**マーケティングとマネジメントを実践する経営体制**が必要です
多岐にわたる内容の業務を一つのチームとして実行するため行政担当者と民間事業者が協力、連携して取り組む必要があります

19

「5章 推進体制」のポイント

（仮称）観光地経営戦略会議（チーム）

想定されるチーム構成員

行政担当者

観光関係機関

民間事業者

同一のチームとして推進体制を担います

20

「5章 推進体制」のポイント

(仮称) 観光事業者ネットワーク ・ (仮称) 観光まちづくり協議会

(仮称) 観光地経営戦略会議

行政担当者
観光関係機関
民間事業者

市民、事業者と連携、調整する観光まちづくり



(仮称) 観光事業者ネットワーク

(仮称) 観光まちづくり協議会